



イーサネット管理ポートの設定

- 機能情報の確認, 1 ページ
- イーサネット管理ポートの前提条件, 1 ページ
- イーサネット管理ポートに関する情報, 2 ページ
- イーサネット管理ポートの設定方法, 5 ページ
- イーサネット管理ポートに関する追加情報, 6 ページ
- イーサネット管理ポートの機能履歴と情報, 7 ページ

機能情報の確認

ご使用のソフトウェア リリースでは、このモジュールで説明されるすべての機能がサポートされているとは限りません。最新の機能情報および警告については、使用するプラットフォームおよびソフトウェア リリースの Bug Search Tool およびリリース ノートを参照してください。このモジュールに記載されている機能の詳細を検索し、各機能がサポートされているリリースのリストを確認する場合は、このモジュールの最後にある機能情報の表を参照してください。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> からアクセスします。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

イーサネット管理ポートの前提条件

PC をイーサネット管理ポートに接続するときに、最初に IP アドレスを割り当てる必要があります。

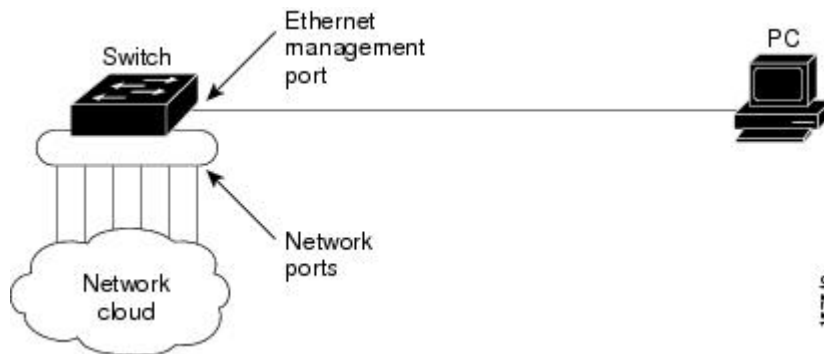
イーサネット管理ポートに関する情報

Gi0/0 または *GigabitEthernet0/0* ポートとも呼ばれるイーサネット管理ポートは、PC を接続する VRF (VPN ルーティング/転送) インターフェイスです。ネットワークの管理に、スイッチ コンソールポートの代わりとしてイーサネット管理ポートを使用できます。スイッチスタックを管理するときに、PC をスタック メンバ上のイーサネット管理ポートに接続します。

スイッチへのイーサネット管理ポートの直接接続

次の図は、スイッチまたはスタンドアロンスイッチに対して、イーサネット管理ポートを PC に接続する方法を示します。

図 1: PC とスイッチの接続

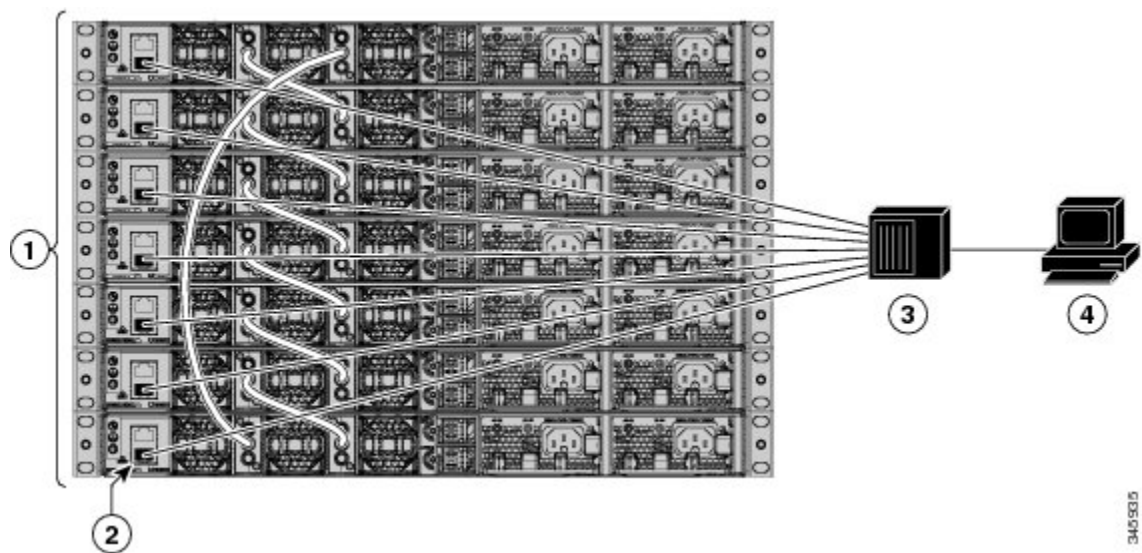


ハブを使用したスタックスイッチへのイーサネット管理ポートの接続

スタック スイッチのみのスタックでは、スタック メンバ上のすべてのイーサネット管理ポートが、PC が接続されるハブに接続されます。アクティブ スイッチのイーサネット管理ポートからのアクティブ リンクは、ハブを経由して PC とつながっています。アクティブ スイッチに障害が発生し、新しいアクティブスイッチが選択された場合、アクティブリンクは、新しいアクティブスイッチ上のイーサネット管理ポートから PC までになります。

次の図は、PC がハブを使用してスイッチ スタックに接続する方法を示しています。

図 2: PC とスイッチ スタックの接続



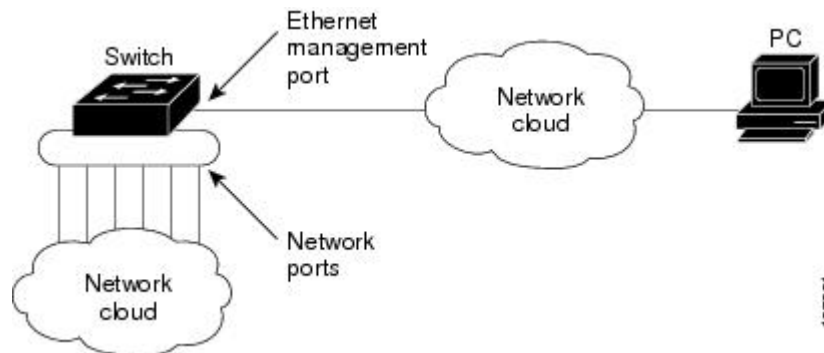
1	スイッチ スタック	3	ハブ
2	管理ポート	4	PC

イーサネット管理ポートおよびルーティング

デフォルトでは、イーサネット管理ポートはイネーブルです。スイッチは、イーサネット管理ポートからネットワーク ポートにパケットをルーティングできず、その逆もできません。イーサネット管理ポートはルーティングをサポートしていませんが、ポート上でルーティングプロトコルをイネーブルにすることが必要となる場合もあります。

PC とスイッチが複数のホップ分離されていて、パケットが PC に到達するには複数のレイヤ 3 デバイスを経由しなければならない場合に、イーサネット管理ポート上のルーティングプロトコルをイネーブルにします。

図 3: ルーティング プロトコルをイネーブルにしたネットワーク例



上記の図では、イーサネット管理ポートとネットワークポートが同じルーティングプロセスに関連付けられている場合、ルートは次のように伝播されます。

- イーサネット管理ポートからのルートは、ネットワークポートを通してネットワークに伝播されます。
- ネットワークポートからのルートは、イーサネット管理ポートを通してネットワークに伝播されます。

イーサネット管理ポートとネットワークポートの間ではルーティングはサポートされていないため、これらのポート間のトラフィックの送受信はできません。このような状況になると、これらのポート間にデータパケットループが発生し、スイッチおよびネットワークの動作が中断されます。このループを防止するには、イーサネット管理ポートとネットワークポートの間のルートを回避するためにルートフィルタを設定してください。

サポートされるイーサネット管理ポートの機能

イーサネット管理ポートは次の機能をサポートします。

- Express Setup (スイッチ スタックでのみ)
- Network Assistant
- パスワード付きの Telnet
- TFTP
- セキュア シェル (SSH)
- Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) ベースの自動設定
- SNMP (ENTITY-MIB および IF-MIB のみ)
- IP ping

- インターフェイス機能
 - 速度：10 Mb/s、100 Mb/s、および自動ネゴシエーション
 - デュプレックス モード：全二重、半二重、自動ネゴシエーション
 - ループバック検出
- Cisco Discovery Protocol (CDP)
- DHCP リレー エージェント
- IPv4 および IPv6 アクセス コントロール リスト (ACL)
- ルーティング プロトコル

**注意**

イーサネット管理ポートの機能をイネーブルにする前に機能がサポートされていることを確認してください。イーサネット管理ポートのサポートされていない機能を設定しようとすると、機能は正しく動作せず、スイッチに障害が発生するおそれがあります。

イーサネット管理ポートの設定方法

イーサネット管理ポートのディセーブル化およびイネーブル化

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	interface gigabitethernet0/0 例： Device(config)# interface gigabitethernet0/0	CLI でイーサネット管理ポートを指定します。
ステップ 3	shutdown 例： Device(config-if)# shutdown	イーサネット管理ポートをディセーブルにします。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 4	no shutdown 例 : Device(config-if)# no shutdown	イーサネット管理ポートをイネーブルにします。
ステップ 5	exit 例 : Device(config-if)# exit	インターフェイス コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 6	show interfaces gigabitethernet0/0 例 : Device# show interfaces gigabitethernet0/0	リンク ステータスを表示します。 PC へのリンク ステータスを調べるには、イーサネット管理ポートの LED をモニタします。リンクがアクティブな場合、LED はグリーン（オン）であり、リンクが停止中の場合は、LED はオフです。POST エラーがある場合は、LED はオレンジです。

次の作業

イーサネット管理ポートを使用したスイッチの管理または設定に進みます。*Network Management Configuration Guide (Catalyst 3850 Switches)* を参照してください。

イーサネット管理ポートに関する追加情報

関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
ブートローダ設定	<i>System Management Configuration Guide (Catalyst 3850 Switches)</i>
ブートローダ コマンド	<i>System Management Command Reference (Catalyst 3850 Switches)</i>

MIB

MIB	MIB のリンク
本リリースでサポートするすべての MIB	<p>選択したプラットフォーム、Cisco IOS リリース、およびフィチャ セットに関する MIB を探してダウンロードするには、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用します。</p> <p>http://www.cisco.com/go/mibs</p>

シスコのテクニカル サポート

説明	Link
<p>シスコのサポート Web サイトでは、シスコの製品やテクノロジーに関するトラブルシューティングにお役立ていただけるように、マニュアルやツールをはじめとする豊富なオンラインリソースを提供しています。</p> <p>お使いの製品のセキュリティ情報や技術情報を入手するために、Cisco Notification Service (Field Notice からアクセス)、Cisco Technical Services Newsletter、Really Simple Syndication (RSS) フィードなどの各種サービスに加入できます。</p> <p>シスコのサポート Web サイトのツールにアクセスする際は、Cisco.com のユーザ ID およびパスワードが必要です。</p>	<p>http://www.cisco.com/support</p>

イーサネット管理ポートの機能履歴と情報

リリース	変更内容
Cisco IOS XE 3.2SE	この機能が導入されました。

